



### 【授業の流れ】

- ①アンケートの結果を提示しねらいとする道徳的価値への意識付けをする。
- ②教材文前段を読み、胸がどきとした時の僕の気持ちを考える。
- ③その後の僕は行動するのかしないのかを考え、話し合う。
- ④教材文後段を読み、僕が行動できた理由について考える。
- ⑤これまでの自分をふりかえり、これからよいと思ったことをするためにどうすればいいか考える。



学年帽子を利用して、「行動する・行動しない」に分けて自分の考えを知らせた。多くの児童が「行動する」に偏ったが、中には迷う児童も見られた。「迷っているけど、勇気を出せば行動できるかもしれない」という意見もあった。

### 児童の振り返りより

- これから一人一人がよいと思ったことを進んでしていけるようにするためにはどうしたらいいと思いますか。
  - ・まちがったことをしていたら、ゆうきをだしてやさしくちゅういする。
  - ・だれかがこまっていたら、ゆうきをだしていけばこうどうできる。
  - ・見ているだけでなく、こまっている人をたすけたい。
  - ・みんながなかよくしあって、けんかをして一人一人がちゅういする。
  - ・だれかがいじめられていたら、だめだよとおしえてあげる。
  - ・ただ見ているだけではたすけられないから、見ていないでうごく。
  - ・わるいこと、いけないことをしない。 ・うそをつかない ・だめなことを知る。

### 指導内容（指導者・ふじみ野市立西小学校 鈴木孝雄 教頭先生）

- ・授業を通しての課題を記載すること。
- ・主発問の際に行動する、行動しない以外に出たことについて検証すること。

### 3. 成果と課題

- 導入ではアンケートの提示をテレビで行ったことで時間が短縮され、主発問に時間をかけることができた。
- 先行授業をもとに発問をすっきりさせることで、児童にとって考えやすい発問になった。
- 毎時間同じ型のワークシートを使用したことでよく記述できていた。枠については差が見られなかった。
- ▼主発問における問い返しが表面的なものになってしまった。
  - ⇒のぼるに対するぼくの気持ちを考えさせる時に周りの子達のこと意識させるとよかった。
- ▼教師と児童の議論になってしまった。子供同士のペアやグループワークを取り入れるとよかった。
- ▼学年帽子を使って考えの可視化を行ったが、本時ではほとんどの児童が行動する方になり、変容があまり見られなかった。
- ▼行動する、しないの2択で考えていたが、迷うといった意見も出た。絞らないことでさらに意見が出たのではないかと。また、その迷う気持ちを切り口にして議論を深められたのではないかと。